第11回文化祭

10月21日～28日

文化・芸術に対する理解を深め、生活に潤いを持って――と、今年も十月二十一日(日)～二十八日(日)までの八日間の日程で『南国市文化祭』が開かれます。

▶力作が並んだ昨年の文化祭

皆さんの出品、出演、来場をお待ちしています。

■**期間**・10月21日(日)～28日(日)まで。

○**美術部門**――10月21日～28日、午前9時から午後5時まで。〈書道、絵画、写真、漫画、生花、アートフラワー、工芸、編物手芸、陶芸、盆石盆画、茶道、俳句、短歌、盆栽〉

○**バザー**・10月27日(土)、10時～

○**芸術部門**――10月21日（午後1時～4時30分）、28日（午前10時～午後4時）の二日間。〈剣詩舞、詩吟、日本舞踊、大正琴、箏曲、コーラス、民謡、謡曲、八ミリ上映（10月21日、午前10時～午後4時）〉

○**講演**――10月21日、午前10時30分～12時）

"南国市の文化を考える"

俳人・杉本恒雄氏

■**会場**・市民体育館、大篠地区公民館

■**審査**・無審査

■**批評会**・10月28日、午前10時～12時。展示会場において写真、絵画、陶芸部門の先生を招き批評会を行います。

■**出品目録**・目録、会費は9月29日(日)までに提出、納入してください。

■**作品搬入日**・10月20日(土)、午前10時～午後2時、市民体育館へ。

■**作品搬出日**・10月28日(日)、午後4時～5時。

■**出品規定**

(1)出品（出演）する方は、必ず南国市文化推進協議会の会員であること（会員でない方は、入会金五百円を納めると会員になれます）。

(2)絵画には必ず額縁を付け百号以内とする。写真には展示に必要な装置を付け大きさは四つ切り以上。漫画も展示に必要な装置を付け大きさはB2以内。書道の一般作品の大きさは画仙紙までで、枠装、軸装は自由。児童、生徒の作品は半紙大とし装丁は自由。

(3)会費（五百円）は、各部門の責任者が取りまとめて納入すること。

(4)作品売却の場合は、売上額の一割を文推協に納入すること。

※文化祭についてお尋ねは、市民体育館☎(64)3498まで。

文化推進協議会にご参加を

文推協会長　島村辰彦

南国市文化推進協議会が昭和四十九年に発足し、本年第十一回目の『文化祭』を十月二十一日から二十八日までの八日間、開催いたします。

美術部門、芸術部門共に回を重ねるごとに充実してまいりました。そして五十七年度から、高知県中央地区文化推進連絡協議会の主催する『東西南国まわり舞台』にも出品、出演、広域文化の推進にも努力いたしております。

第二次世界大戦後、物質文明は高度に発達し、日常生活も機械化、電化され、マイカーの普及は行動範囲を広め、何不自由のない温室のような文化生活を営んでいる反面、青少年の非行、麻薬事件、強盗殺人などの事件が多発。

何か大切な事を忘れているのではないか。

精神文化という大きな忘れ物をしているように思われます。文化とは「世の中が開けて進むこと」と訳されている。文化とは人間の生きざまであろう。

一、心の安らぎと潤いのある住民生活に根ざした文化活動の推進

一、物質文明社会における生活文化の高揚

一、教養の向上と情操の陶冶

一、文化活動を媒体とした地域社会の連帯感の高揚

一、住民の直接参加する文化活動の奨励

――以上のような事柄を目標として、文化祭の開催やその他の文化活動に努力を重ね微力ながら、文化の推進に参与しております。

市民の皆さんに、南国市文化推進協議会の主旨、意義をご理解いただき、多くの方々と手を取り合って、心の豊かさと潤いのある文化社会の推進に、努力して行きたいと願っております。

市内の美術・芸能のグループ、青少年の方々にもご参加をお願いして、地域社会の文化推進にご協力していただきたいと思っています。よろしくお願いします。

申し込みは、市立中央公民館事務局（☎(64)3498）までご連絡ください。